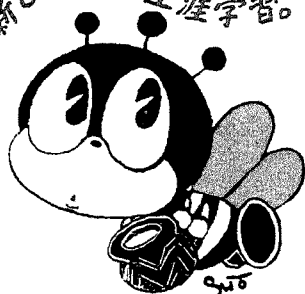


《わたしと生涯学習》 2

これから何か始めようと考えている方に少しでも参考になればと思い、「わたしと生涯学習」と題して、現在「生涯学習推進に携わっている方」「生涯学習を実践されている方」に【生涯学習について日ごろ考えていること】【生涯学習に実際取り組んでいること】などを紹介していただきました。

新しい風、生涯学習。



コーラスと
わたし

澤田 洋一



生涯学習なんて、とんでもない。学校ちゃう所を出た以上、もう勉強なんてみるも嫌です。

てなことをいって、なにしろ机に向かって、本を読んだり、ノートを取ったり、その揚げ句、「覚えが悪いの」「出来が悪いの」と言われて、もう、勉強なんかこりこり到底いやなこった、と投げ捨てていませんか。

かく申している私も、実は最終学歴を終わったときに、もうこれで勉強に悩まされなくていいんだ、と喜んで社会に飛び出したものです。しかも今度はわたしは学校の先生になって、生徒に勉強を強いる立場になってしまったのです。

さて、どうしたことでしょう。実際に世の中に出てみると、「知らないこと」「分からないこと」「できないこと」の多いこと。と言うことは、ただ学校を出ただけでは、世の中のこととはよく分からないと言つことになりました。

そうです、学校は学習意欲を身につけ、社会に出て基本的な生活習慣が営めるようになる所なのです。

まして、今や社会も家庭も、生活していく上で大変複雑に変化してきています。したがってこの複雑さにすべて、対応するには大変なこと、この複雑多岐の中から何かを選択して行動していくことになります。これが現代社会の最も重要な場面なのです。

実は今、その選択肢の一例が、スタートしているのです。それは、一人ひとりが何を学

習したいかが、対応できる県生涯学習文化振興課のコンピュータ端末機が、都留市文化会館にあるのです。それにより、各種の情報が手に入ります。

さて、話を元に戻しましょう。社会に出て私は、合唱の指導に取り組み、長年の合唱経験や地域の方々と交流から、いろいろ学習しました。最近では、幼稚園から、シルバーまで小学校、中学校、高校とかがわっています。

都留市に文化ホールができたお陰で、さらに合唱の方々と交流が深まり、生涯学習にふさわしい、コーラスを通して相互に生涯学習を重ねているところです。

一人ひとりのより良い生涯学習の成果は、より素晴らしい生涯の喜びと生き甲斐を生み出すのです。

実際に、今シルバーコーラスの皆さんと合唱をしていると、月に二回のわずかな一時ですが集まってくる皆さんの心の喜びが伝わってきます。

かつて、自分たちが歌った歌とか、聞いた歌とかを、真剣に取り組んでいるのです。それが例え今までに取り組んだことのない歌でも、真剣に対応する能力が身につけているのです。

いつまでたっても、学習に意欲を持つと言うことは、日ごろから何事においても、求めていく姿勢が生涯学習の基本精神ではないでしょうか。